



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
 コード番号 7561 URL <https://www.hurxley.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中野 雅哉 TEL 06-6376-8088
 定時株主総会開催予定日 2026年6月22日 配当支払開始予定日 2026年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無（アナリスト向け）：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	52,427	16.1	5,170	44.5	3,057	58.3	3,003	44.3	1,483	23.2
2025年3月期	45,175	△3.4	3,578	△6.0	1,931	△20.7	2,082	△19.6	1,204	△24.8

(注) EBITDA 2026年3月期： 営業利益3,057+減価償却費1,527+のれん償却費584
 2025年3月期： 営業利益1,931+減価償却費1,369+のれん償却費277

(注) 包括利益 2026年3月期 1,514百万円 (43.1%) 2025年3月期 1,000百万円 (△46.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	80.24	—	5.9	4.2	5.8
2025年3月期	65.17	—	4.9	2.8	4.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △16百万円 2025年3月期 △19百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	71,815	25,812	35.7	1,386.58
2025年3月期	73,427	24,662	33.6	1,333.17

(参考) 自己資本 2026年3月期 25,639百万円 2025年3月期 24,651百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	5,647	△865	△4,342	12,369
2025年3月期	175	△6,814	4,364	11,936

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	480	39.9	2.0
2026年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00	518	34.9	2.1
2027年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		34.7	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,400	3.4	900	△13.3	800	△28.3	400	△23.1	21.63
通期	55,500	5.9	2,800	△8.4	2,600	△13.4	1,600	6.6	86.53

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	19,050,064株	2025年3月期	19,050,064株
2026年3月期	558,930株	2025年3月期	558,930株
2026年3月期	18,491,134株	2025年3月期	18,486,064株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,482	21.5	411	27.8	829	72.8	647	—
2025年3月期	1,219	△1.3	322	△35.6	480	△52.1	49	△94.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	34.96	—
2025年3月期	2.68	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	22,435	11,388	50.7	614.96
2025年3月期	23,672	11,251	47.5	607.75

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,380百万円 2025年3月期 11,247百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(未適用の会計基準等)	14
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、中東を中心とした地政学リスクの長期化も懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。また物価上昇の継続が消費者マインドを冷え込ませ、引き続き個人消費に悪影響を及ぼす懸念があります。

当連結会計年度の連結業績及びセグメント別経営成績の概要は、以下となります。

1. 売上高、EBITDA、営業利益、経常利益いずれも過去最高額を更新
2. 成長ドライバーである「物流・食品加工事業」の当第4四半期（1月～3月）期間における営業利益は過去最高額を更新（対前年同四半期+49.5%）
3. 「中食事業」は、6四半期連続黒字化、EBITDAは前年同期より2倍となる
4. フリーキャッシュ・フロー（営業キャッシュ・フロー+投資活動キャッシュ・フロー）は、営業キャッシュ・フローの大幅改善と子会社取得及び有形固定資産の取得による支出の減少に伴いプラスとなり財務状況が改善（2026年3月期47億円、2025年3月期△66億円）※13頁「連結キャッシュ・フロー計算書参照」

この結果、当連結会計年度の連結業績及びセグメント業績は以下のとおりとなりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	実績	2026年3月期	
			増減額	前年同期比
売上高	45,175	52,427	+7,252	+16.1%
営業利益	1,931	3,057	+1,125	+58.3%
経常利益	2,082	3,003	+921	+44.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,204	1,483	+278	+23.2%

セグメントごとの経営業績は、次のとおりです。

(セグメント別売上高)

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	実績	2026年3月期	
			増減額	前年同期比
中食事業	17,325	16,764	△561	△3.2%
店舗アセット& ソリューション事業	12,190	14,331	+2,140	+17.6%
物流・食品加工事業	18,091	23,758	+5,667	+31.3%
その他の事業	796	1,108	+311	+39.2%
計	48,403	55,961	+7,558	+15.6%
調整額 (消去及び全社)	△3,227	△3,534	△306	—
計	45,175	52,427	+7,252	+16.1%

(セグメント別営業利益)

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	実績	2026年3月期	
			増減額	前年同期比
中食事業	△72	320	+392	—
店舗アセット& ソリューション事業	1,734	2,228	+493	+28.4%
物流・食品加工事業	888	835	△52	△5.9%
その他の事業	796	1,108	+311	+39.2%
計	3,346	4,492	+1,145	+34.2%
調整額 (消去及び全社)	△1,414	△1,434	△19	—
計	1,931	3,057	+1,125	+58.3%

(店舗数推移)

① 中食事業（ほっかほっか亭）

	2026年3月期	2025年3月期
既存店売上前年同期間比 (期中平均)	98.5%	101.7%
店舗数(店) (3月末)	716	817

(注)2026年3月に岩手、青森地区本部契約終了のため、68店舗閉店しております。

② 店舗アセット&ソリューション事業

(単位：店)

	2026年3月末	2025年3月末
店舗リース取引店舗数	863	845
不動産管理テナント数	167	170
稼働店舗数	1,030	1,015

① 中食事業

<ほっかほっか亭部門>

ほっかほっか亭部門では、創業以来の「つくりたて」にこだわったお弁当、お惣菜の提供に注力してまいりました。公式アプリ「ほっかアプリ」を活用した様々な販促プロモーションを展開するとともに、米価高騰対策の麺を主食とした西日本エリアでの「とりめし焼きそば」などの焼きそばシリーズ、東日本エリアでの「ナポリタン」シリーズを販売。またお客さまへの還元施策としてライス大盛の値下げ、おかず増量キャンペーンなど家計応援施策を展開するとともに、スペシャルシリーズのリニューアルの実施をはじめ新商品の開発、販売に努めてまいりました。

<ケータリング部門及びセレモニー部門>

ケータリング部門及びセレモニー部門では、パーティー・イベント需要にお応えする仕出し料理の展開を行っております。スポーツイベント、国際的イベント、国際会議の案件の受注他同業との協業案件も増加いたしました。

これらの結果、中食事業の業績は、売上高167億64百万円（前年同期比3.2%減）となりましたが、原材料等コスト低減諸施策により営業利益は320百万円と前年同期72百万円の営業損失から黒字転換いたしました。

② 店舗アセット&ソリューション事業

<店舗ビジネス>

店舗ビジネス部門では、店舗リースなど、飲食店等の店舗事業者様向けソリューションの提供を行っております。店舗事業者の開拓、SNS等を通じた退店情報の収集など、幅広い情報チャネルを活用した戦略を継続的に展開してまいりました。また、これまでの実績を背景に、ビルオーナー様からの提案や相談も増加しております。

これらの取り組みの結果、店舗リース取引店舗数は前連結会計年度末より18店舗純増し、863店舗となりました。

<店舗不動産ビジネス>

店舗不動産ビジネス部門では、所有または管理受託するビルのリーシング活動を通じて稼働店舗数の拡大を図るとともに、取得不動産における稼働率向上や遵法性工事等のバリューアップ施策を推進してまいりました。

これらの結果、店舗不動産及び新規用地の取得はありませんでしたが、2棟の売却を行い所有不動産の稼働建物棟数は16棟、不動産アセットマネジメント対象の稼働建物棟数は6棟となり、稼働店舗数は167店舗となりました。

<人材採用ソリューション>

飲食業・宿泊業・食料品製造業・農業・介護業を中心に、特定技能外国人の採用支援を展開しており、他業界への展開を見据え、営業体制の構築に努めるとともに、外国人材関連の受注獲得に向けた営業基盤の強化を進めてまいりました。また、コンサルティング業界を中心とした求人需要の高まりを背景に、従来の若手ハイクラスに加え、中堅エキスパート層及びエグゼクティブ層へと支援対象を拡大してまいりました。

<IT経営ソリューション>

IT経営ソリューション部門では、製菓・ベーカリー事業者様向けに、業界シェアトップのPOSレジシステム等を開発しております。

シェア拡大に向けた施策として、ハードウェアの柔軟性を高めた「Android OS版 ninapos」をリリースいたしました。また2025年6月に全国的に注目度の高いベーカリー様への導入が決定し、ベーカリー業界への更なる展開を進めております。

<パーティー・イベント用品レンタル>

パーティー・イベント用品レンタル部門では、イベント時のホテル・レストラン等のお客様へ食器や什器等のレンタルサービスを提供しております。

社会経済活動が活発となり、各種イベント・パーティーでの需要が一段と増加し、関西・大阪万博関連のイベントを含め、大型イベント会場でのケータリングが好調に推移いたしました。

これらの結果、店舗アセット&ソリューション事業の業績は、売上高143億31百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益22億28百万円（同28.4%増）となりました。

③ 物流・食品加工事業

<食品加工部門>

食品加工部門では、中華惣菜の製造・販売を行っております。

主力商品「贅沢焼売」の増量施策や特売実施により、NB商品（ナショナルブランド商品）の販売が着実に伸びました。また、グループシナジーを活かし、関西以西の新規開拓や大手外食チェーンでの採用に至るなど、販路が大きく拡大しております。

<物流部門・コミッサリー部門>

物流部門・コミッサリー部門では、ほっかほっか亭店舗へ納入する食品の加工や、スーパー・コンビニエンスストア等からのOEM製造受託をはじめとしたコミッサリー及び、商材や食材等の配送を担う物流サービスを提供しております。物流部門では、新規顧客開拓に注力し、倉庫運用やEC関連業務など販売チャネル及び売上拡大に努めてまいりました。コミッサリー部門では、強みである「製造」、「販売」、「物流」を生かした新規獲得に努めるとともに、グループシナジーの一環で「食品加工部門」の営業代行による販路を獲得、売上拡大に寄与いたしました。

<菓子製造部門>

菓子製造部門では、ナッツ・ドライフルーツ等の菓子類の製造・販売を行っております。

稲葉ピーナツでは、消費者の「お買い得感」のニーズに合わせた既存商品の内容量を増やした大袋タイプの商品を、また谷貝食品では主力商品となった茨城県産紅はるかを使用した「茨城県産ほしいも」の売上が伸び、新商品「ほしいもピールフレック」、キャラクタータイアップ商品の売上が好調に推移いたしました。

これらの結果、物流・食品加工事業の業績は、2024年12月に子会社化した㈱ホソヤコーポレーションの業績取り込みもあり、売上高は237億58百万円（前年同期比31.3%増）となりましたが、営業利益につきましては、のれん償却費増加により8億35百万円（同5.9%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は718億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億12百万円減少しました。これは主に商品及び製品が減少したことによるものです。

負債合計は460億2百万円となり前連結会計年度末に比べ27億62百万円減少しました。これは主に借入金が増加したことによるものです。

純資産は258億12百万円となり前連結会計年度末に比べ11億50百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上によるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ4億33百万円増加し、123億69百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は56億47百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益28億8百万円、減価償却費15億27百万円及び棚卸資産の減少による増加額9億99百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8億65百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出19億17百万円と投資有価証券の売却による収入5億75百万円及び有形固定資産の売却による収入1億63百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は43億42百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出96億44百万円及び短期借入金の純減額12億18百万円と長期借入れによる収入70億81百万円及び配当金の支払額4億99百万円によるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、地政学リスクの継続、為替の変動、原材料価格やエネルギー価格の高止まりに加え、インフレ圧力による消費者の節約志向も継続されることが想定されるなど、事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

このような事業環境のもと、当社といたしましては、2027年3月期連結業績予想は次のように考えております。

1. 物流・食品加工事業（食品加工部門）

順調に推移するものと考えており、「のれん償却費」負担後の営業利益は改善を予想しております。

2. 物流・食品加工事業（農産部門（植物工場による野菜生産及び販売））

連結初年度となり、年間を通した売上高寄与となりますが、今年度は販売チャネル他の体制整備を最優先するため、費用先行を予想しております。

3. 物流・食品加工事業（菓子製造部門）

為替の変動、原材料価格上昇など懸念材料が多く、コスト上昇による原価率の上昇を予想しております。

4. 店舗アセット&ソリューション事業

ROA（総資産利益率）及び営業キャッシュフロー改善を継続的に実行していくため、不動産売却による売上及び利益を含んでおります。

5. 中食事業

包装資材、原材料価格などコスト上昇も懸念されますが、現況を踏まえ、底堅く推移するものと予想しております。

多様な事業を持つ強みを最大限に生かし、各グループ会社の経営基盤を相互に活用することで、事業間シナジーを高め、事業の成長と利益拡大による持続的成長を目指し鋭意努力してまいります。

以上により、2027年3月期の連結業績予想は以下のとおりといたしました。

（連結業績）

（単位：百万円）

	見通し	2027年3月期	
		増減	前年同期比
売上高	55,500	+3,072	+5.9%
営業利益	2,800	△257	△8.4%
経常利益	2,600	△403	△13.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,600	+98	+6.6%

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,338	12,778
受取手形、売掛金及び契約資産	3,827	3,749
商品及び製品	10,727	8,788
原材料及び貯蔵品	849	1,657
その他	1,846	1,803
貸倒引当金	△32	△22
流動資産合計	29,557	28,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,305	10,080
機械装置及び運搬具（純額）	1,475	1,356
工具、器具及び備品（純額）	221	217
土地	12,573	12,578
リース資産（純額）	101	134
建設仮勘定	201	718
有形固定資産合計	24,879	25,086
無形固定資産		
借地権	3,463	3,463
のれん	6,470	5,995
その他	239	194
無形固定資産合計	10,174	9,654
投資その他の資産		
投資有価証券	3,244	2,465
長期貸付金	53	47
敷金及び保証金	4,933	4,993
繰延税金資産	185	437
長期未収入金	177	390
退職給付に係る資産	138	133
その他	297	272
貸倒引当金	△211	△422
投資その他の資産合計	8,816	8,318
固定資産合計	43,870	43,058
資産合計	73,427	71,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,376	3,312
1年内償還予定の社債	14	14
短期借入金	4,233	3,015
1年内返済予定の長期借入金	4,536	3,233
未払金	1,161	1,116
未払法人税等	224	906
未払消費税等	304	434
賞与引当金	290	359
その他	2,744	3,123
流動負債合計	16,886	15,516
固定負債		
社債	37	23
長期借入金	26,484	25,225
長期預り保証金	4,353	4,268
繰延税金負債	88	122
退職給付に係る負債	41	28
資産除去債務	554	499
その他	320	319
固定負債合計	31,878	30,486
負債合計	48,765	46,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	1,902	1,908
利益剰余金	18,916	19,900
自己株式	△380	△380
株主資本合計	24,475	25,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	174
その他の包括利益累計額合計	176	174
新株予約権	4	7
非支配株主持分	6	165
純資産合計	24,662	25,812
負債純資産合計	73,427	71,815

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	45,175	52,427
売上原価	30,683	35,672
売上総利益	14,491	16,754
販売費及び一般管理費	12,559	13,697
営業利益	1,931	3,057
営業外収益		
受取利息	7	22
受取配当金	67	118
投資有価証券売却益	211	133
受取手数料	60	81
業務委託契約解約益	37	38
その他	123	124
営業外収益合計	508	517
営業外費用		
支払利息	199	353
支払手数料	148	156
持分法による投資損失	19	16
その他	△8	44
営業外費用合計	358	571
経常利益	2,082	3,003
特別利益		
固定資産売却益	8	7
受取和解金	11	—
受取補償金	106	20
その他	1	—
特別利益合計	127	28
特別損失		
固定資産売却損	2	2
固定資産除却損	50	34
減損損失	187	116
支払補償金	54	—
投資有価証券評価損	27	68
子会社清算損	39	—
その他	1	1
特別損失合計	364	224
税金等調整前当期純利益	1,845	2,808
法人税、住民税及び事業税	590	1,512
法人税等調整額	57	△220
法人税等合計	647	1,292
当期純利益	1,197	1,516
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△7	32
親会社株主に帰属する当期純利益	1,204	1,483

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,197	1,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△197	△1
包括利益	1,000	1,514
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	994	1,482
非支配株主に係る包括利益	6	32

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,036	1,904	18,229	△391	23,779
当期変動額					
剰余金の配当			△517		△517
親会社株主に帰属する当期純利益			1,204		1,204
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△1		10	9
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△1	686	10	695
当期末残高	4,036	1,902	18,916	△380	24,475

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	373	373	2	－	24,155
当期変動額					
剰余金の配当					△517
親会社株主に帰属する当期純利益					1,204
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					9
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△197	△197	2	6	△188
当期変動額合計	△197	△197	2	6	507
当期末残高	176	176	4	6	24,662

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,036	1,902	18,916	△380	24,475
当期変動額					
剰余金の配当			△530		△530
親会社株主に帰属する当期純利益			1,483		1,483
連結子会社の増資による持分の増減		5			5
連結子会社株式の売却による持分の増減			31		31
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計		5	984		989
当期末残高	4,036	1,908	19,900	△380	25,464

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	176	176	4	6	24,662
当期変動額					
剰余金の配当					△530
親会社株主に帰属する当期純利益					1,483
連結子会社の増資による持分の増減					5
連結子会社株式の売却による持分の増減					31
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1	△1	3	158	160
当期変動額合計	△1	△1	3	158	1,150
当期末残高	174	174	7	165	25,812

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,845	2,808
減価償却費	1,330	1,527
のれん償却額	277	584
固定資産売却損益（△は益）	△5	△5
固定資産除却損	50	34
減損損失	187	116
子会社清算損益（△は益）	39	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△201	△64
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5	△17
賞与引当金の増減額（△は減少）	△22	61
受取利息及び受取配当金	△75	△140
支払利息	199	353
持分法による投資損益（△は益）	19	16
売上債権の増減額（△は増加）	519	129
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,815	999
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,135	△63
前受収益の増減額（△は減少）	113	25
未払金の増減額（△は減少）	148	△44
未払費用の増減額（△は減少）	1	△19
預り金の増減額（△は減少）	△252	138
未収消費税等の増減額（△は増加）	183	△57
未払消費税等の増減額（△は減少）	115	130
その他	△297	△62
小計	1,222	6,450
法人税等の支払額	△1,083	△1,041
法人税等の還付額	36	237
営業活動によるキャッシュ・フロー	175	5,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	75	140
有形固定資産の取得による支出	△3,687	△1,885
有形固定資産の売却による収入	588	163
無形固定資産の取得による支出	△97	△31
投資有価証券の取得による支出	△707	△180
投資有価証券の売却による収入	891	575
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△4,526	△98
差入保証金の純増減額（△は増加）	4	43
その他	644	407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,814	△865
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△199	△355
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,268	△1,218
長期借入れによる収入	12,003	7,081
長期借入金の返済による支出	△9,126	△9,644
社債の償還による支出	△14	△14
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 売却による収入	—	350
配当金の支払額	△517	△499
その他	△50	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,364	△4,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,274	433
現金及び現金同等物の期首残高	14,210	11,936
現金及び現金同等物の期末残高	11,936	12,369

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（未適用の会計基準等）

（リースに関する会計基準等）

- ・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日）
- ・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日）等

（1）概要

国際的な会計基準と同様に、借手のすべてのリースについて資産・負債を計上する等の取扱いを定めるものであります。

（2）適用予定日

2028年3月期の期首から適用予定であります。

（3）当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による連結財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中でありま

す。

（表示方法の変更）

（連結損益計算書）

前連結会計年度において、「特別損失」の「その他」に含めておりました「投資有価証券評価損」につきまして、金額の重要性が増したため、当連結会計年度においては「投資有価証券評価損」として独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度において、「特別損失」の「その他」に表示していた29百万円は、「投資有価証券評価損」27百万円及び「その他」1百万円として組み替えております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業については、各事業会社の関連する事業の経済的特徴を基礎として集約した製品・サービス別セグメントから構成されております。

当社グループは「中食事業」、「店舗アセット&ソリューション事業」、「物流・食品加工事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの事業内容は次のとおりであります。

事業区分	主要な製品及び事業内容
中食事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほっかほっか亭」店舗のフランチャイズチェーンシステム展開 ・弁当・惣菜製造販売 ・食材等の提供 ・ケータリングサービス
店舗アセット&ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗リース等、店舗運営事業者向けソリューション ・店舗不動産の価値向上および販売 ・人材採用ソリューション ・IT経営ソリューション ・パーティー・イベント用品レンタル
物流・食品加工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・物流センターの運営、企業向け物流等 ・食品加工 ・製菓製造 ・卸販売 ・人工光型植物工場における野菜生産および販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	中食事業	店舗アセット &ソリューション事業	物流・食品 加工事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	17,150	6,189	16,143	39,482	—	39,482
一定の期間にわたり移転される財	31	—	—	31	—	31
顧客との契約から生じる収益	17,182	6,189	16,143	39,514	—	39,514
その他の収益 (注) 4	14	5,630	15	5,660	—	5,660
外部顧客への売上高	17,196	11,820	16,158	45,175	—	45,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	128	370	1,932	2,430	796	3,227
計	17,325	12,190	18,091	47,606	796	48,403
営業利益又は損失 (△)	△72	1,734	888	2,550	796	3,346

	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高		
一時点で移転される財	—	39,482
一定の期間にわたり移転される財	—	31
顧客との契約から生じる収益	—	39,514
その他の収益 (注) 4	—	5,660
外部顧客への売上高	—	45,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	△3,227	—
計	△3,227	45,175
営業利益又は損失 (△)	△1,414	1,931

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、グループ支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,414百万円には、セグメント間取引消去13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,428百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入及び「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」（企業会計基準委員会移管指針第10号）の対象となる不動産（不動産信託受益権を含む。）の譲渡等が含まれております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	中食事業	店舗アセット &ソリューション事業	物流・食品 加工事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	16,476	5,961	21,878	44,315	—	44,315
一定の期間にわたり移転される財	32	—	—	32	—	32
顧客との契約から生じる収益	16,508	5,961	21,878	44,348	—	44,348
その他の収益（注）4	24	8,042	12	8,079	—	8,079
外部顧客への売上高	16,533	14,003	21,890	52,427	—	52,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	230	327	1,867	2,425	1,108	3,534
計	16,764	14,331	23,758	54,853	1,108	55,961
セグメント利益	320	2,228	835	3,383	1,108	4,492

	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高		
一時点で移転される財	—	44,315
一定の期間にわたり移転される財	—	32
顧客との契約から生じる収益	—	44,348
その他の収益（注）4	—	8,079
外部顧客への売上高	—	52,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	△3,534	—
計	△3,534	52,427
セグメント利益	△1,434	3,057

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、グループ支援事業であります。
2. セグメント利益の調整額△1,434百万円には、セグメント間取引消去216百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,650百万円が含まれております。
3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）に基づく賃貸料収入が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報
セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高
海外売上はありませんので、該当事項はありません。
 - (2) 有形固定資産
本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。
3. 主要な顧客ごとの情報
外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報
セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
 - (1) 売上高
海外売上はありませんので、該当事項はありません。
 - (2) 有形固定資産
本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。
3. 主要な顧客ごとの情報
外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	中食事業	店舗アセット& ソリューション 事業	物流・食品加工 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	172	15	—	—	—	187

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	中食事業	店舗アセット& ソリューション 事業	物流・食品加工 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	87	29	—	—	—	116

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	中食事業	店舗アセット& ソリューション 事業	物流・食品加工 事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	2	74	201	—	—	277
当期末残高	16	68	6,386	—	—	6,470

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	中食事業	店舗アセット& ソリューション 事業	物流・食品加工 事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	3	68	513	—	—	584
当期末残高	12	—	5,983	—	—	5,995

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,333.17円	1,386.58円
1株当たり当期純利益	65.17円	80.24円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 当事業年度の潜在株式後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,204	1,483
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,204	1,483
普通株式の期中平均株式数（千株）	18,486	18,491
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（百万円）	－	－
普通株式増加数（千株）	－	－
（うち新株予約権（千株））	（－）	（－）
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

（重要な後発事象）

該当事項はありません。